

予防接種を受けられる前の注意点及び確認事項

■予防接種を受けることが適当でない者

接種を受ける際に、次のいずれかに該当する場合は、接種を受けることができません。

- ① 接種当日、37.5℃以上の発熱があるなど、明らかなかぜ症状や体調不良がある方。
- ② 治療中の病気がある方は、主治医にご相談ください。重篤な急性疾患にかかっている場合は受けることができません。
- ③ これまでに、予防接種の接種液の成分によって、接種後 30 分以内に、じんましん、呼吸困難等の症状が出たことがある方。また、卵等で同様の症状が出たことがある方。
- ④ これまでに、予防接種で接種後 2 日以内に発熱があった方及び全身性発疹等のアレルギーが疑われる病状が出たことがある方。
- ⑤ 過去に免疫不全の診断がされている方。
- ⑥ その他、接種前の診察で、医師が適当でないと認めた方。

■一般的注意

- ① 接種後 24 時間は副反応(下記参照)が出る場合があります。気になる症状が出た場合は、接種を受けた医療機関にご相談ください。
- ⑦ 過激な運動、大量の飲酒は、それ自体で体調の変化をきたす恐れがあるので、ワクチン接種後 24 時間は避けましょう。

■意思の確認について

インフルエンザワクチン並びに新型コロナワクチンは、主に個人の予防目的で行うものです。ご本人(または保護者の方)の意思と責任で接種を希望される場合のみ、受けることができます。

ご本人の意思確認ができない場合は、予防接種法に基づいた予防接種を受けることができませんのでご了承ください。

■副反応について

① 重大な副反応

まれにショック、アナフィラキシー様症状(じんましん、呼吸困難、血管浮腫等)があらわれることがあります、そのほとんどは接種後 30 分以内に生じますが、まれに接種後 4 時間以内(アナフィラキシーの副反応報告基準)に起こることもあります。その他、ギランバレー症候群、けいれん、急性散在性脳脊髄炎、肝機能障害、黄疸、喘息発作等の報告があります。

② その他の副反応

過敏症:まれに接種直後から数日中に、発疹、じんましん、紅斑、掻痒等があらわれることがあります。

全身症状:発熱、悪寒、頭痛、倦怠感等を認めることがあります、通常 2〜3 日中に消失します。

局所症状:発赤、腫脹、疼痛等を認めることがあります、通常、2〜3 日中に消失します。

- ③ 65 歳以上の方がインフルエンザまたは新型コロナワクチンによって引き起こされた副反応により、生活に支障が出るような障害を残すなど健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けられる場合があります。